

氏名	内山真理	部署	健康開発学科	職名	講師
研究分野	公衆栄養、栄養教育				
学位	博士(医学)				
学歴	1995年静岡県立大学食品栄養科学部栄養学科、1997年静岡県立大学大学院生活健康科学研究科食品栄養科学専攻修士課程、2005年東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科・環境社会医歯学系健康推進医学博士後期課程				
経歴	1997年飯田女子短期大学家政学科食物栄養専攻助手、2002年静岡県立大学食品栄養科学部栄養学科助手、2006年埼玉県立大学保健医療福祉学部健康開発学科講師				
所属学会(役職)	日本公衆衛生学会、日本栄養改善学会				

【2015年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1) 著作					
1	該当なし				
(2) 論文					
1	該当なし				
(3) 学会発表					
1	若年者の血圧・食塩摂取量・尿中アルブミン値の現状 高齢者との比較	共著	第26回生物試料分析科学会、沖縄	○久保田亮、岡田孝美、浜田えりな、西澤美穂子、酒井伸枝、荒川恭子、井原寛子、 内山真理 、関美雪、室橋郁生	2016.2
2	骨粗鬆症と転倒の予防教室における栄養指導の効果	共著	第17回日本骨粗鬆症学会、広島	○藤縄理、菊本東陽、須永康代、 内山真理 、善生まり子、萱場一則、廣瀬圭子、遠藤直人	2015.9
3	うつ傾向とライフスタイルの関連 青森県黒石市、長野県中野市、沖縄県豊見城市の比較	共著	第74回日本公衆衛生学会総会、長崎	○加藤朋子、若林子ヒロ、新村洋未、久保田富夫、延原弘章、北畠義典、 内山真理 、山口乃生子、本間三恵子、伊藤奏	2015.11
4	主観的階層帰属意識と歯科保健行動との関連	共著	第74回日本公衆衛生学会総会、長崎	○伊藤奏、若林子ヒロ、野口有紀、 内山真理 、加藤朋子、北畠義典、新村洋未、延原弘章、本間三恵子、山口乃生子、柳川洋	2015.11
5	女性の日常的症状の経験とネットによる健康情報希求行動との関連 本邦3地域調査から	共著	第74回日本公衆衛生学会総会、長崎	○本間三恵子、若林子ヒロ、延原弘章、北畠義典、 内山真理 、加藤朋子、新村洋未、山口乃生子、伊藤奏、野口有紀、柳川洋	2015.11
6	女性の健康関連ライフスタイル10年間の変化 黒石市、中野市、豊見城市の地域比較	共著	第74回日本公衆衛生学会総会、長崎	○若林子ヒロ、本間三恵子、伊藤奏、加藤朋子、北畠義典、野口有紀、 内山真理 、新村洋未、山口乃生子、延原弘章、久保田富夫、柳川洋	2015.11
7	地域健康講座参加者のバイタルサインの検討	共著	第10回日本臨床検査学教育学会、長野	○荒川恭子、韓笑、酒井伸枝、井原寛子、久保田亮、 内山真理 、関美雪、室橋郁生	2015.8
(4) その他					
1	該当なし				
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称	研究名、研究代表者・研究分担者の別			研究期間
1	埼玉県立大学・奨励研究	健康とライフスタイルの国際比較(研究分担者)			2015.4-2016.2

2	埼玉県立大学・奨励研究	武里団地における住民主体の健康なまちづくり －若者と築く「健康長寿武里モデル」(武プロ) －(研究分担者)	2015.4-2016.2	
3	埼玉県立大学・奨励研究	「1日6g未満の減塩達成」に向けた地域健康促進手法の確立とその効果の検討(研究分担者)	2015.4-2016.2	
4	埼玉県立大学・奨励研究	住民主体の骨粗鬆症と転倒の予防教室に対する行政と連携した支援の短期的効果と自立して実施している教室の長期的効果の検討(研究分担者)	2015.4-2016.2	
3. 教育業績				
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)	
(1) 講義				
1	健康行動科学セミナー	2015.6	専門科目における導入科目として、栄養学からの行動科学的のアプローチについて事例を用いて解説した。	
2	健康栄養演習	2015.4-2015.8	秤量法による食事調査を体験させ、食事調査の長所、短所を経験から理解させるように工夫した。また、食事調査結果を用いて、食事摂取状況のアセスメント、食事改善の計画をさせることにより、食事摂取基準の各指標の考え方、PDCAサイクルに基づく活用方法を理解させることができた。	
3	栄養学・食生活論①②	2015.10-2016.2	栄養学の専門知識を養うと共に、健康の維持・増進と疾病予防のために、栄養素から食品、料理レベルに置き換えて食生活へ応用ができるように意識して講義を行った。また、学生による授業評価意見のフィードバックおよび授業外での学習促進を目的に、講義資料をweb上でも配布し、授業以外における学習を促進できた。	
4	食の科学	2015.10-2016.2	理論だけでなく、うまみに関する調理科学実験を取り入れ、味の相乗効果を活用した減塩指導など実践と結びつけることができた。	
(2) 演習				
1	健康行動科学演習	2015.6	学外における調査実習の監督を行った。	
(3) 実習				
1	ヒューマンケア体験実習	2015.6-2015.10	2施設の学外実習について、施設訪問、学生指導、評価を担当した。	
2	健康行動科学実習	2015.11	健康支援プログラム(休養)の監督を行った。	
(4) 論文指導				
1	学士課程	2015.4-2016.1	主指導 3名	
(5) その他				
1	該当なし			
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会等の講師				
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ	開催年月
1	公開講座 講師	埼玉県立大学	高血圧講座 ～一病息災で元気に過ごすコツ～	2015.7
2	親子食育講座 講師	春日部市武里大枝公民館・埼玉県立大学	食育 SAT システムでサッと 栄養バランスを診断!	2015.7
3	チーム-3キロ 講師	越谷市	「健康的にやせる栄養の基礎」	2015.11
(2) 国、自治体、財団法人等における委員等				
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称		任期
1	該当なし			
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			
5. 学内運営(委員会委員)				
1	紀要編集委員 委員			
2	ICT教育支援部会 部員			
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)				
	受賞名	主催		受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の保有状況				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	該当なし			